

教科名	保健体育	学 年	1	週時間数	3
使用教科書	中学校保健体育（学研）				
副教材等	中学体育実技（学研） 保健資料ノート（正進社）				

教科の目標		○運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けることができる。 ○運動についての自己課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 ○運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をすることができる。		
授業の進め方		○毎時間準備運動をしながら、体力づくりと怪我の予防をしていきます。 ○各種目の基本的な動作や技術の練習をして、技能の向上を図り、記録を測りながら、自己の課題の達成度を測ります。 ○グループ活動を積極的に取り入れ、自分たちで課題発見・解決できるような環境をつくります。 ○準備や片付けなど互いに協力してできるようにします。		
観点		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価	つきたい力	○各運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、伝統的な考え方、各領域に関連して高まる体力、健康・安全の留意点についての具体的な方法及び運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について考えを理解している。 ○各領域の運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。	○運動を豊かにするための自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組みや目的に応じた組み合わせを工夫している。 ○自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	○運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、共生などに対する意欲をもっている。 ○健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。
	方法	・定期テスト ・技能テスト ・習熟度テスト ・ワークシートの内容	・体操への取り組み ・技能テスト ・グループ活動での言動 ・ワークシートの内容	・授業への取り組み方 ・授業での準備・片付け ・グループ活動での参加 ・ワークシートの取り組み
	学習のポイント	○自己の課題解決に向けて、考えたり、それを実践したり表現していこう。 ○知識を技能に結びつけよう。	○自己の課題に向けて、積極的に取り組むとともに、グループや仲間に思いを発信していこう。	○準備や片付けなども含め、グループ活動には積極的に参加しよう。 ○健康・安全に留意し行動できるようにしよう。
	家庭	○日頃の健康管理に努めよう。 ○プリントの内容を理解し覚えよう。 ○中学体育実技や保健体育の教科書を読み、学習を深めよう。		
定期テスト範囲	1学期中間(5月下旬頃)			
	1学期期末(6月下旬頃)		ラジオ体操・集団行動・陸上競技・器械運動・健康な生活と病気の予防	
	2学期中間(9月下旬頃)			
	2学期期末(11月下旬頃)		器械運動・球技・陸上競技・心身の機能発達と心の健康	
	学 年 末(2月下旬頃)		球技・武道・心身の機能発達と心の健康・1年間で学習した全範囲	

学期	月	単元	学習のねらい	おもな学習内容
1	4	体づくり運動 体育に関する知識 スポーツの多様性	・ 自己の体力や生活に応じた課題をもって次の運動を行い、体力を高めたりすることができるようにする。 ・ 自己の生活の中での生かし方を理解する。	・ ラジオ体操第1 ・ 集団行動 ・ 体力を高める運動 ・ 体ほぐし・体力を高める運動の意義 ・ 新体力テスト
	5			
		陸上競技Ⅰ	・ 仲間同士で協力しあい技能向上の楽しさや喜びを味わう。	・ 走種目 (短距離走、リレー)
	6	健康な生活と病気の予防①	・ 自らの健康について考え、生活習慣病について理解を深める。健康のためには、適切な運動をすることが必要であることやその運動に見合った食事や休養、睡眠が大切であることを理解する。	・ 健康の成り立ち ・ 運動と健康 ・ 食生活と健康 ・ 休養、睡眠と健康 ・ 調和のとれた生活
	7	器械運動	・ 自己の能力に適した技を選択し、個々の技ができるように技能を高める。	・ マット運動、跳び箱
2	9	器械運動	・ 自己の能力に適した技を選択し、個々の技ができるように技能を高める。	・ 跳び箱
	10	心身の機能の発達と心の健康	・ 体の各器官はどのように発育・発達するか理解する。 ・ 呼吸器、循環器の仕組みとその機能を発達させるための効果的な運動について理解する。	・ 体の発育、発達 ・ 呼吸器、循環器の発達
	11	球技ⅠⅡ	・ 基本のパスとドリブルなどのボール操作と基本の動きを身につけ、仲間と連携してシュートチャンスを作る楽しさを味わう ・ 「投げる・捕る・打つ」の基本操作と、状況に応じたベースランニングや送球などの基本の動きを身につけ、得点したり守ったりする楽しさを味わう	・ バスケットボール ・ ソフトボール
	12	陸上競技Ⅱ	・ 自己の能力に適した課題解決に取り組んだり、記録の向上や喜びや競争の楽しさを味わう。	・ 持久走
		心身の機能の発達と心の健康	・ 思春期の体の変化を理解する。 ・ 排卵と月経の仕組みについて理解する。 ・ 受精と妊娠の仕組みを理解する。	・ 生殖機能の成熟 ・ 性とどう向き合うか

3	1	武道	・技ができる楽しさや喜びを味わい、武道の特性や成り立ち、技の名称や行い方を理解する。	・剣道
	2	球技Ⅲ	・アンダーハンドやオーバーハンドでボールをつなぐ技能を身につけ、仲間と協力してラリーを続ける楽しさを味わう。	・バレーボール
	3	心身の機能の発達と心の健康	・心と脳の関係、知的機能・情意機能の発達の仕方について理解する。 ・社会性の発達の仕方について理解する。	・心の発達(1)(2) ・自己形成 ・欲求不満やストレスへの対処
	3	球技Ⅳ	・正確な「止める・蹴る・運ぶ」の基礎技能と、空いたスペースを見つけて動く連携プレーを身につけ、チームで協力してゴールを目指す楽しさを味わう。	・サッカー

教科名	技術	学 年	1	週時間数	1
使用教科書	「新しい技術・家庭 技術分野」(東京書籍)				
副教材等	「技術・家庭ノート 技術分野」(新学社)				

教科 の目 標	○実践的・体験的な活動を通して、生活や社会で利用されている技術についての基礎的な理解を図り、それらに係る技能を身に付けるとともに、生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだし課題を設定しそれを解決する力や、よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする態度等を育成する。				
授業 の進 め方	○ワークやプリントを中心に教科書なども活用しながら学習を進めます。学習形態は4人程度のグループで進めていきますので、わからないことや困ったことはまずはグループで相談し解決を目指しましょう。ただし作業の場面では安全面を考え、わからないことや自信がないことは先生に確認しましょう。				
観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
評価 学習の ポイント	つ け たい 力	○生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。	○生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだし課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通して具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。	○よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。	
	方 法	・知識については主に定期テストをもってその定着を確認し、評価します。技能については技能テストや作業の確認などを、主に授業中に行い評価します。	・プリントや定期テストで確認し、評価します。	・プリントや定期テストで確認し、評価します。	
	授 業	○学習に取り組む様子や学習内容の定着を確認するため、提出物などは期日を守り提出してください。	○学習に取り組む様子や学習内容の定着を確認するため、提出物などは期日を守り提出してください。	○学習に取り組む様子や学習内容の定着を確認するため、提出物などは期日を守り提出してください。	
	家 庭	○学習内容を実生活で生かし、より豊かな生活を創造しましょう。			
定期 テスト 範囲	1 学期中間(5月下旬頃)				
	1 学期期末(6月下旬頃)		「情報の技術」と「材料と加工の技術」において学習した内容		
	2 学期中間(9月下旬頃)				
	2 学期期末(11月下旬頃)		「材料と加工の技術」において学習した内容		
	学 年 末(2月下旬頃)		「材料と加工の技術」と「情報の技術」において学習した内容		

学期	月	単元	学習のねらい	おもな学習内容
1	4	〈情報の技術〉	〈情報の技術〉 ・タブレット端末の基本的な操作方法を理解し、他の教科でも活用できるようになります。	〈情報の技術〉 ・コンピュータの使い方を身につけよう
	5	〈材料と加工の技術〉	〈材料と加工の技術〉 ・材料を利用したものづくりにかかわる内容について学習します。	〈材料と加工の技術〉 ・材料の技術と加工の技術を見つけよう ・材料の特性を調べよう ・問題を解決する工夫を考えよう ・実習の安全な進め方を知ろう
	6			・設計のしかたを知ろう ・図や表を読み取ろう ・設計にそった製作をしよう（けがき）
	7		・製作に使う工具の種類や目的、安全に使う方法を学習します。	
2	9			・設計にそった製作をしよう（切断・部品加工・組み立て・仕上げ）
	10			
	11			
	12			
3	1		・材料と加工の技術のこれからの未来における役割や影響、誠実な生かし方を考えます	・社会の発展と材料と加工の技術
	2	〈情報の技術〉	〈情報の技術〉 ・情報通信ネットワークにかかわる様々な技術を理解し、モラルを守って安全に活用することができるようになります。 ・プログラムの製作を通し、プログラミングの基礎を学びます。	〈情報の技術〉 ・情報を処理する技術を見つけよう ・コンピュータが情報を処理する仕組みを知ろう ・情報通信ネットワークの仕組みを知ろう ・情報セキュリティと情報モラルを知ろう ・情報の技術の工夫と利用を考えよう
	3		・1年間の学習をふり返り、次年度や実生活に生かす態度を養います。	・1年間の学習で学んだことをまとめよう